

井原民報

第109号
発行所
日本共産党
井原市議団
井原市井原町103
TEL 62-6200
FAX 62-6209

いま、小部落単位で説明を

森本市議が有料化に反対

あらゆる手立て尽くし「ごみ減量を

ありとあらゆる手立て

森本市議が、ごみ問題で次のような、質問(提言)をしました。

「市長は、今後、有料化を実施することが具体的に決まった時点で連合自治会単位に説明する、と言っておられます。

実施時期などを決定する前に市民の声を十分に聞くようにするのが当然ではないですか。決まってしまう、お金ももらいますよ、皆さん減量にご協力をというのでは、住民を軽視していると思えません。

雇用促進住宅の入居者に市としての配慮を

石井市議が市長の考えを聞く

石井市議は、雇用促進住宅の入居者に退去勧告が出されていることについて、入居者を守る立場で市の考えを聞きました。

「市長は、市民の代表者ですから、こういうことはすべきでない」と、国、県に要望し、運動として採り上げていただきました」と提言しました。

市長は「木の子の雇用促進住宅は、平成三十三年度に廃止予定なので、直ちに要望を行うことは現在のところ考えていない」と答えました。

石井市議は「井原



を尽くすべきではないか」と指摘すると同時に提言を行いました。

市長は、先に有料化ありきの立場がみえみえで、あくまで地域での説明は「有料化の実施時期や内容が決まった後で連合自治会単位で説明する」と張り点張りで



市として市営住宅入居希望者に対して、一定の配慮を」と市長の考えを聞きました。

市長は「雇用促進住宅の入居者だけを優先的に入居させることは困難です。民間住宅や社宅等退去したときと同様に、通常の申し込みをいただきたい。

しかし、この問題は各市町の共通の課題です。各関係市町とも連携をとりながら、要望の運動展開を行っていきたくいし、今後、市長会でも議題にしたい。国にたいし、要望についても検討しました。

2008年(平成20年)井原市議会9月定例会での質問議員の項目

- 宮地 俊則議員 ◆平成21年度予算編成について ◆鉄道井原線について
- 井口 勇 議員 ◆地域特産品の支援について ◆地産地消への計画的な取り組みについて
- 森下 金三議員 ◆市長の公約について ◆水道施設の整備について
- 佐能 直樹議員 ◆入札制度改革の1年の成果について ◆庁内設備の有効活用のためのチェックおよび見直しについて
- 内田美千子議員 ◆ごみ有料化の取り組みと、今後の減量対策について
- 河合 建志議員 ◆高梁市佐屋地区の井原市への行政区域の変更について ◆学校の耐震化の前倒しの具体案について ◆簡易水道の整備について ◆井原市の職員採用について
- 森本 典夫議員 ◆ごみ収集を有料にせず、横浜市のように徹底した分別と、きめ細かい小部落での説明会で、市民の協力を得てごみの減量を実現しては ◆入札制度の更なる改善をしては ◆日常生活用具給付品目に電子レンジを加えるほか、福祉基金助成事業の助成額の更なる拡充をするなど福祉施策の充実をしては ◆子どもの医療費無料の該当年齢を小学6年まで拡大しては ◆旧井原市内の全幼稚園での給食実施の準備状況はどうなっていますか ◆消防広域化で住民の生命・財産は十分守れるのですか
- 猪原 保之議員 ◆子育て支援課を市に設置しては ◆少子化に伴う統廃合の課題
- 川上 武徳議員 ◆本市の小中高生の暴力行為・いじめ・不登校について ◆井原市地域活性化イベント補助金について
- 大滝 文則議員 ◆行政サービス提供の考え方について
- 石井 敏夫議員 ◆雇用促進住宅の一方面的な住宅廃止や入居者退去を強行させないようにしては
- 佐藤 豊 議員 ◆岡山県財政構造改革プランによる本市への影響について ◆ジェネリック(後発)医薬品の普及への取り組みについて ◆太陽光発電の補助制度について ◆「いざと言うとき」の子育て家族の応援ブックについて
- 鳥越孝太郎議員 ◆本年度新規事業としてスタートした「笑って健康元気アップ」「ふるさと回帰」「結婚推進」の3事業について ◆健康増進づくりにグラウンドゴルフ場の整備促進を
- 鳥越 勇 議員 ◆グラウンドゴルフ場の新設について ◆農産物の振興について
- 水野 忠範議員 ◆農業の振興について



いよいよ総選挙！！。日本共産党が伸びれば政治は必ず変わります。「国民が主人公」の新しい日本へ。

井原市議会9月定例会で一般会計の補正予算が2億6,990万円組まれました。これを加えると今年度の一般会計予算の合計は178億9,820万円(前年同月と比較すると4.0%の減少)になります。

一般会計の主な補正予算は次のようなものがあります。

- 井原駅前への電光掲示板(192cm×32cm)設置工事費・・・351万円
税金徴収システム改修業務委託料・・・6,400万円
農道等の修繕工事費・・・2,100万円
農業用水路等の新設改良工事費・・・4,660万円
農道等の舗装用原材料費・・・1,000万円
道路の修繕工事費等・・・7,400万円
河川の修繕・整備工事費・・・1,860万円
県道拡幅による木之子中学校のネット、フェンス等の移転新設工事費・・・570万円
7月5日の豪雨による山肌崩落の復旧工事費・・・300万円

西山省三 昭和二十年生まれ
井原市青野町
日本共産党井原支部長
堺市立第二工業高校中退
趣味・釣りの絵画



森本ふみお 昭和十八年生まれ
井原市木之子町
以前、長尾外科医院勤務
現在、市議5期目
趣味と言えるか?のんびりと音楽を聴くこと



この程、日本共産党は、来春の井原市議選の候補者を、左記の二名とすることを決定しました。

請願・陳情の審査結果

- 国に対する「私学助成の拡充を求める意見書」の提出を要請する請願・・・採択
●教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願・・・採択
●単県医療費公費負担制度の継続を求める陳情・・・趣旨採択
●後期高齢者医療制度の廃止を求める請願・・・不採択
●後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書を国に対して提出を求める陳情・・・不採択

藤井 山本 嵩之 井原市大星町 昭和二十一年生

井原市議会は、左の二名を教育委員会委員として任命することに同意しました。任期は四年

安部 浩二 岡山市高島新屋敷 大正十四年生
荒木 信之 倉敷市真備町 昭和二十一年生
内田 元代 井原市上出部町 昭和十三年生
田邊 美千子 井原市上出部町 昭和九年生

井原市議会は、左の五名を井原市情報公開不服審査会委員として委嘱することに同意しました。任期は二年

井原市議会定例会 一般質問状況一覧

Table with columns for Council Member Name, Fiscal Year (平成17-20), and Number of Questions Asked. Rows include members like 水野 忠範, 内田美千子, etc.

森本、石井、河合議員以外全員 後期高齢者医療制度を容認

世界に例を見ない、75歳以上の高齢者いじめの後期高齢者医療制度の廃止を求める請願と陳情が九月議会で不採択になりました。出席議員の中で、採択すべきとの態度を表明したのは、日本共産党の森本、石井両議員と河合議員だけでした。多くの市民が、この制度は良いことは殆ど無いと言っています。制度をいろいろ修正しても、根本が悪いものはどんなに修正しても悪い制度です。したがって、廃止をして、制度の導入前に戻し、一から議論すべきです。真に井原市の高齢者の生活と健康を守る立場に立つなら、不採択ということにはならないのではと思います。今のままでいいということには、市民のみなさんに「保険料の負担や健康に不安があっても、がまんしなさい、仕方ないですよ」と言っていることになるのです。国の悪政に対し、市民を守る防波堤になるのが自治体であり、議員ではないでしょうか。皆さんのご意見をお聞かせください。

いよいよ総選挙!!。日本共産党の勝利で、後期高齢者医療制度は、きれいなさっぱり撤廃させまじょう。